◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

いわて マナビィ マガジン

No.245 （令和４年度第７号） 2022.7.22

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

＜＜＜ 本号の内容 ＞＞＞

◎岩手県公民館大会・岩手県社会教育委員研究大会が開催！
～学びによる人と人とのつながりづくり～
◎「いわて」のマナビィ ミニ講座⑥
「日本初の公民館」（奥州市）

★――――――――――――――――――――――――――――――――――――★

岩手県公民館大会・岩手県社会教育委員研究大会が開催！

★――――――――――――――――――――――――――――――――――――★

７月１５日、第68回岩手県公民館大会・令和４年度岩手県社会教育委員研究大会が二戸市民文化会館を会場に開催されました。

県公民館大会は今回で68回目となる歴史ある大会ですが、コロナ禍が続く中、日程を短縮して参集型とオンデマンド型（収録映像を後日視聴）を併用して開催され、１６０人あまりの関係者が久しぶりに参会しました。

本大会の主題は「人口減少社会における生涯学習の発展を考える」ですが、伝統芸能の継続が難しい、地区の活動ができない、祭りができないなど人口減少が及ぼす影響は身近に確実に出てきています。さらに、コロナ禍が追い打ちをかけ、同地区の大人同士や同じ学校に通う保護者同士であっても「お互いの顔が分からない」「世間話や情報交換を行う機会がない」といった話が聞こえてきています。

本大会を主催する岩手県社会教育連絡協議会の大橋清司会長によれば、「コロナ禍により、私たちの人間関係は、よりパーソナルなものになったと考えられ、これまでのように集団や複数と築いてきた人間関係が、『個』単位の関係になっている。これまでは多少の価値観が違ったとしても、親族、職場、子どもの関係、趣味やスポーツ関係など付き合い方が存在していたが、感染リスクを減らすことを最優先することで、人の考え方も変わり、人との付き合い方も変わっていくという問題が起きている。」とのことです。

本大会では、二戸市民文士劇 朗読劇「相馬大作物語」の編集映像の視聴、視覚障がい者への絵画の触図の提供についての講演、一戸町の御所野遺跡の地域・学校を巻き込んだ世界遺産登録や保全の取組、九戸村の学校を核とした郷土芸能の伝承についての事例（県立伊保内高校の活動内容等）の発表が行われました。

本大会開催を契機として、学びに関わるすべての場所において、学ぶ人々の主体性やつながりをさらに大切にしながら、人づくり・地域づくりを進めていきたいものです。

☆彡――――――――――――――――――――――――――――――――――☆彡

「いわて」のマナビィ　ミニ講座⑥（奥州市）

☆彡――――――――――――――――――――――――――――――――――☆彡

今回のミニ講座は、「日本初の公民館」です！

皆さんは、日本初の公民館と言われる施設が岩手県（奥州市）にあることをご存じでしょうか？

………………………………………………………………………………………

【後藤伯記念公民館】

日本で初めての「公民館」として知られています。

昭和16年(1941)11月に建設され、寄贈されたものです。寄贈者は後藤新平と親交があった当時の読売新聞社社長正力松太郎であり、新平の13回忌にあたって、故人に対する旧恩感謝の意をこめて贈られたものです。（新平は私財を投げ打って、困窮していた正力氏を助けたと言われています。）

その後、水沢市公民館として利用され、平成13年10月から「水沢市後藤伯記念公民館」となって、現在も愛されながら保存・使用されています。

【後藤新平（ごとうしんぺい）】

陸奥国胆沢郡（現・奥州市）出身の東京市長（現東京都知事）、内務大臣、鉄道院総裁などを歴任した先見の政治家です。

愛知県病院の院長兼医学校長を務めていましたが、暴漢に襲われた板垣退助を治療したことがきっかけとなり、政界入りしました。台湾民政府長官などを経て満州鉄道の初代総裁に就任し、満州の開発に力を注ぎました。第２次桂内閣の時に入閣し、以後各大臣職を歴任することとなります。８億円の大東京計画や１０億円の関東大震災復興計画などを発表して世間を驚かせました。

【後藤新平の名言より】

「一に人　二に人　三に人」

「金を残して死ぬのは下だ。事業を残して死ぬのは中だ。人を残して死ぬのが上だ。」

※新平は、この世を作っていくのは人であるとの考えから優秀な人材を作り生かしていくこと（教育）に尽力しており、この人間本意主義に基づいた教員の教習所も創設しています。

………………………………………………………………………………………

公益財団法人 岩手県観光協会ホームページ
［いわての旅（いわて県観光ポータルサイト）］より
↓↓↓
https://iwatetabi.jp/spot/detail.spn.php?spot_id=194

奥州市立　後藤新平記念館ホームページ
↓↓↓
https://www.city.oshu.iwate.jp/site/shinpei/

当面の研修会等実施予定

８月　９日（火）　学校と地域の連携・協働研修会
　　１９日（金）　人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（盛岡）
　　３０日（火）～３１日（水）
　　　　　　　　放課後児童支援員研（沿岸前期）
９月　２日（金）　放課後子ども総合プラン指導者合同研修会②
　　１２日（月）～１３日（火）
　　　　　　　　放課後児童支援員研（盛岡前期）
　　１３日（火）　センター・公民館・主管課職員等セミナー
　　１６日（金）　地域安全防災研修会

※当所センター主催の開催要項・実施報告書は、当センターのＨＰ「まなびネットいわて」でご覧ください。（中段の「新着情報」または上段の「事業計画・研修講座要項」内に掲載中）
↓↓↓↓↓
https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/index.html

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||

▸ご意見・ご感想、登録・登録解除等は下記アドレスまで
⇒　E-mail；mag-manabee@pref.iwate.jp

▸生涯学習・社会教育関連情報は当センターＨＰから
⇒　https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/index.html

▸ 当センターの情報を SNS にて配信中
【Facebook】https://www.facebook.com/manabinetiwate/
【 Twitter 】https://twitter.com/manabinetiwate Facebook・Twitter

|||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||iwatemanabeemagazine||||||

発　行：岩手県立生涯学習推進センター　（花巻市北湯口 2-82-13）
編　集：菊池　一洋